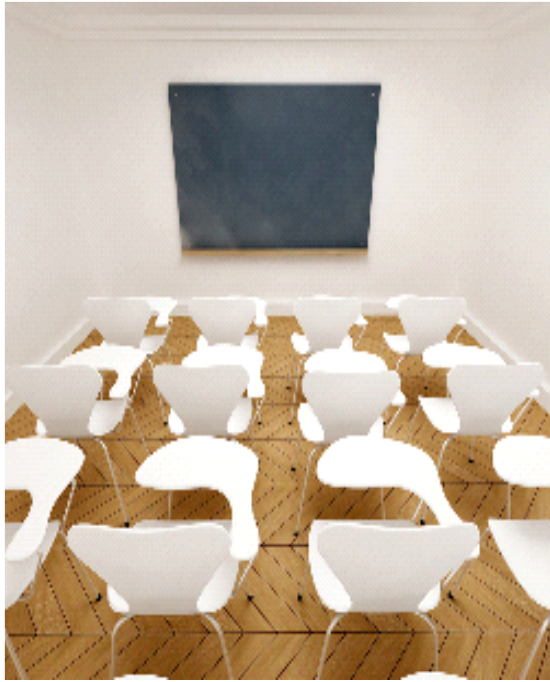


『NS経営塾』

平成26年2月5日開講



・経営幹部育成研修会 各コース

月1回 計12回開催

PM6:30～8:00

・講義内容

Aコース（一般社員向け）

社会人基礎力

社会で働くための基礎を学ぶ

Bコース（幹部社員向け）

次世代 経営幹部育成

会社経営とリーダーシップ

受講終了時

知的資産経営報告書 完成

“夢”を数字に、数字をカタチに

株式会社 NS計算センター

東京都日野市日野本町6-8-34

電話：042-582-3895

Fax：042-586-4546

E-mail：nakamura@ns-keisan.com



[講師] 早稲田経営学院講師 経営研究所 所長 柳井秀治氏

[開催場所] 八王子東急スクエア F12 学園都市センター

[受講料] 1社（3名まで受付け）月額50,000円（税抜き）

カリキュラム

A コース(basic)

Chapter1 インタロダクション

- ・社会人基礎
- ・社会人基礎力が必要なこと

Chapter2 前に踏み出す力

- ・主体性
- ・働きかけ力
- ・実行力
- ・メンバー育成

Chapter3 考え抜く力

- ・課題発見力
- ・計画力
- ・創造力

Chapter3 チームで働く力

- ・発信力
- ・傾聴力
- ・柔軟性
- ・情報把握力
- ・規律性
- ・ストレスコントロール力

B コース(advance)

Chapter1 マネジメントの基礎

- ・マネジメント
- ・マネージャーの役割
- ・マネジメントプロセス
- ・コミュニケーション
- ・リーダーシップ
- ・モチベーション
- ・メンバー育成

Chapter2 成長する企業をつくる

- ・企業の成長条件
- ・企業の使命
- ・企業のビジョン
- ・ビジョン設定
- ・環境変化に機械を読む
- ・企業の強みをする
- ・戦略課題の発掘
- ・部門の使命
- ・部門のビジョン
- ・戦略課題の推進
- ・業務改革のステップ
- ・問題発見・原因追究
- ・解決案の作成
- ・アイデア発想法
- ・発想のポイント
- ・対策の評価
- ・行動計画の作成
- ・環境変化の一般的トレンド
- ・環境変化と私の役割

Chapter3 中堅社員研修

- ・企業活動と倫理観
- ・法律・規則の意義を理解する
- ・問題発見と課題形成力
- ・問題解決思考と解決手順
- ・目標達成と自主管理
- ・係数管理の基礎
- ・自律型人材を目指す
- ・生花の出る後輩指導
- ・上司をどうフォローするか
- ・プロフェッショナルを目指す
- ・視野を広げ豊かな感性を磨く

Chapter4 初級管理者研修

- ・社会の常識と管理
- ・企業活動と法律の関わり
- ・上位方針と課題形成力
- ・問題構造化と課題解決力
- ・成果を上げる仕組みづくり
- ・自律型組織を目指す
- ・学習する組織を構築する
- ・人材育成と管理者の役割
- ・問題発見と提案力
- ・組織運営の活性化とリーダー
- ・キャリアの棚卸しと自己開発

知的資産経営報告書とは・・・

知的資産とは、従来 B S に記載されている資産以外の「無形の資産」であり、企業における競争力の源泉である人材・技術・技能・知的財産（特許・ブランド等）・組織力・経営理念・顧客とのネットワーク等、財務諸表には表れてこない、目に見えにくい経営資源の総称を指します。

知的資産経営報告書とは、これら「知的資産」を、顧客・協力会社・従業員・株主といったステークホルダー(利害関係者)に対し、「知的資産」を活用した企業価値向上に向けた活動“価値創造ストーリー”として、目に見える形で分かりやすくお伝えし、企業の将来性に関して認識を共有化していただくことを目的に作成するレポートです。

『NS経営塾』申込書

会社名		
代表者氏名		
住所		
電話番号		
FAX 番号		
参加者役職		
参加者氏名		
参加者役職		
参加者氏名		

お振込み口座

多摩信用金庫 日野支店 普通預金 No.2667139 (株)NS計算センター

【開催日詳細】

A コース

平成 26 年 02 月 19 日
平成 26 年 03 月 19 日
平成 26 年 04 月 23 日
平成 26 年 05 月 21 日
平成 26 年 06 月 25 日
平成 26 年 07 月 23 日
平成 26 年 08 月 20 日
平成 26 年 09 月 24 日
平成 26 年 10 月 22 日
平成 26 年 11 月 19 日
平成 26 年 12 月 24 日
平成 26 年 01 月 21 日

B コース

平成 26 年 02 月 05 日
平成 26 年 03 月 05 日
平成 26 年 04 月 09 日
平成 26 年 05 月 07 日
平成 26 年 06 月 11 日
平成 26 年 07 月 09 日
平成 26 年 08 月 06 日
平成 26 年 09 月 10 日
平成 26 年 10 月 08 日
平成 26 年 11 月 05 日
平成 26 年 12 月 10 日
平成 26 年 01 月 07 日